

インフルエンザ予防接種についての注意事項

1、【予防接種を受けるときの注意】

- 1) インフルエンザワクチンの必要性や副反応について不明な点があれば、予防接種の前に主治医に相談しましょう。
- 2) 受ける前日は、からだを清潔にしましょう。
- 3) 当日は、体調をよく観察し、普段と変わったことがないことを確認しましょう。
- 4) 予診票は、医師への大切な情報ですので、正確に記入しましょう。

2、【予防接種を受けることができない方】

- 1) 明らかに発熱（37.5℃以上）がある方
- 2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方（ひどい咳・鼻水等）
- 3) 過去にインフルエンザワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーをおこしたことがある方
- 4) その他、主治医が予防接種を受けることが不相当と判断した場合

3、【予防接種を受けることに注意を要する方】

次のいずれかに該当する場合は、健康状態や体質などから接種の適否などを慎重に判断し、注意して接種する必要があります。

心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方

- 1) 以前の予防接種で、接種後2日以内に発熱のみられた方及び、全身の発疹などのアレルギーを疑う症状を起こしたことがある方
- 2) 過去にけいれん既往のある方
- 3) 過去に免疫不全の診断を受けた方及び近親者に先天性免疫不全の方がいる方
- 4) 気管支喘息のある方
- 5) 接種を行うインフルエンザワクチンの成分または鶏卵・鶏肉、その他鶏由来のものに対してアレルギーを起こすおそれがある方

4、【接種後の注意】

- 1) 接種後30分間は病院近くにいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあればすぐに医師と連絡をとるようにしましょう。
- 2) 接種後24時間は、副反応の出現に注意しましょう。比較的多い副反応としては、接種した部位（局所）の発赤（赤み）、腫脹（はれ）、疼痛（痛み）などがあげられます。また、全身の反応としては、発熱、頭痛、悪寒（寒気）、倦怠感（だるさ）などが見られます。まれではありますが、ワクチンに対するアレルギー反応（発疹・じんましん・赤み・かゆみ）などがみられることもあります。接種した部位の発赤・腫れ・痛みは、接種を受けた方の10～20%に起こりますが、通常2～3日で消失します。
- 3) 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすらないようにしましょう。
- 4) 接種当日は、接種部位を清潔に保ち、いつもどおりの生活をしましょう。ただし激しい運動は避けましょう。
- 5) 高熱やけいれん等の異常な症状がでた場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。